

松が丘園 通信

6年12月号

令和6年12月3日発行・vol.62
社会福祉法人相模原市社会福祉事業団



＜ 淵野辺公園の桜の落葉も終わり

冬の訪れを感じます ＞

- ◆この通信は、障害者支援センター松が丘園で行う事業の情報をお伝えしています。
- ◆事業団ホームページには、この通信の他、各事業の詳細を掲載していますので、こちらも合わせてご覧ください。
www.sagamihara-shafuku.or.jp/matsugaokaen/mtgk-news.html

第27回 松が丘園祭 ～銀河の森フェスタ～ 開催報告

10月26日（土）に松が丘園祭～銀河の森フェスタを開催しました。当日は大変多くの方のご来場をいただきました。開催にあたり地域の皆様をはじめ、各関係団体の方々には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。以下松が丘園祭当日の様子について一部になりますがご報告させていただきます。

<ステージ>

和泉短期大学のダンスグループの力強いダンスパフォーマンスに始まり、紙芝居やオーケストラ、よきこいの演舞等、大盛況のステージでした。また今年度は「障害児の育てる苦勞は我が子の愛おしさに！」とのタイトルで、生活介護利用者のご家族からご講演を頂きました。



<バザー>

地域の皆様や職員の出品による人気のバザーは、午前中から大盛況でした。売り上げの大部分は、日本赤十字社を通じて能登地震災害義援金へ寄付させていただきました。出品へのご協力をいただいた皆様ありがとうございました。



<フォトスポット>

今年も大好評のフォトスポット！たくさんの方にお越し頂きました。ハロウィンの季節にぴったりの背景に、個性あふれる素敵な写真が、たくさん完成しました。



<ホームカミングデー>

今年度は「タイムカプセルを作ろう！～X年後の自分へ～」をテーマに、ホームカミングデーを開催しました。参加者は自分の好きなデザインにタイムカプセルをデコレーションし、「こうなっていたら良いな」と口ずさみながら笑顔で作成していました。撮影した写真などは3年後、皆様に郵送いたします。普段は違う会社や事業所に所属している皆さんから、仕事のこと、プライベートなこと、さまざまな会話が飛び交い、大変有意義な時間となりました。



基幹相談支援センター等事業

令和7年2月3日に「未来に向けて今できること～青年期～中年期の方の今後について知る～」という講座を実施いたします。当講座の対象は障害児者のご家族の皆様となります。「ご家族が高齢になった時」や「親亡きあと」等のライフステージ上の環境変化に備え、ご家族の皆様が未来を見据えた支援ができるようになることや、そのきっかけとなることを目的としております。今年度は青年期～中年期の方の未来を考えますが、障害児のご家族の皆様にも役立つ内容です。講師として法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科教授の佐藤繭美先生をお呼びいたします。講義の後には、参加したご家族の皆様同士で意見交換ができる時間も設ける予定です。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください！

令和6年度 基幹相談支援センター等事業 ライフステージに応じた講座

未来に向けて今できること

～青年期～中年期の方の今後について知る～

ご家族向け

障害児者のご家族の皆様、今後どのような未来が想定されるのか、未来に備えておくことはどんなことが必要になっていってしまう方も多いのではないのでしょうか？今の未来を想像し、備えたいことを知る。この講座「ライフステージに応じた講座」を実施いたします。特に青年期～中年期の方のご家族向けに「ご家族が高齢になった時」や「親亡きあと」に備えて、事前に知っておきたいことについて佐藤先生にご講演いただきます。また、参加者同士で意見交換ができる時間も設けます。幼少期や学齢期の方のご家族等のご参加もお待ちしております。

1. 講義(60分)
2. 意見交換・質疑応答・感想(30分)

講師: 佐藤 繭美先生
法政大学現代福祉学部
福祉コミュニティ学科 教授

自分がかくなったら
どうなるのだろうか？

未来に備えて今できる
ことって何だろうか？

日 ち : 令和7年2月3日(月)
時 間 : 10:30～12:00
実施場所 : 障害者支援センター松が丘園 3階研修室
対 象 : 相模原市に在住している障害児者の家族
(後見人等を含む)
募集人数 : 25名程度

申込期間 : 令和7年1月27日(月)17時まで <参加費無料>
申込方法 : 裏面の参加申込書にて、FAX・郵送またはメール
問合せ先 : 障害者支援センター松が丘園 ライフステージに応じた講座
電話: 042-758-2121 講座担当: 須谷まで

生活介護事業

10月に季節行事のハロウィンを楽しみました。ハロウィンの装いで、麦の穂での接客やお客様の呼び込みも行い、たくさんの方から声をかけていただきました。ご自宅から衣装を持参した方もいたり、どの利用者も楽しい雰囲気の中で活動を楽しむことができました。



さがみはら“ゆめ”プロジェクト報告

相模原市体育館で行われた「第5回さがみはら”ゆめ”プロジェクト」に自立訓練の利用者が参加しました。よさこい等を披露し、最後は観客の皆さんと一緒に踊り盛り上がりました。車いすバスケット、車いすテニスも体験し楽しみながら身体を動かした1日でした。



障作連の取り組み報告

今年度は、和泉短期大学横地ゼミ生の皆さんと障作連の自主製品の新品開発に取り組みました。

どんな商品が売れるだろうか？今の流行は？などアイデアを出し合い、相模原産の卵や、ゼミとの関係の深い東北産のホーリーバジル、梨、カボチャを使用して商品を作りました。その中でもホーリーバジルを使った「じゃがいもチップバジル味」はラベルも学生が考えてくれた「じゃがいも君」が目印です。

10月26日に行われた「いずみ祭」「松が丘園祭」にて発売を開始し、多くの方がラベルを可愛いと手に取っていただきました。売り上げの一部が赤い羽根募金等に充てられることも、購入者はとても喜んでいただきました。

今回、学生との関わりの中で新品の開発だけでなく東北支援などの活動も合わせて行うことができました。今後も、様々な活動に取り組んでいきたいと思っております。



福祉研修センター事業

11月21日(木)、22日(金)の2日間、「令和6年度相模原市強度行動障害支援者養成研修」を開催し、市内の福祉サービス事業所等に所属する49名の方が受講しました。研修では、強度行動障害とはどのようなものか、自閉スペクトラム症の特性やそれを踏まえた支援等を想定した演習を行うなど、中身の濃い研修となりました。



年末年始休館のおしらせ

12月29日(日)～1月3日(金)は年末年始の休館日となります。松が丘園のすべての事業が休みとなりますので、ご注意ください。